

# 【議事録】 InterBEE MoIP 説明会

---

## Inter BEE MoIP (BEEMO) 企画説明会

概要：本説明会は、Inter BEE 2026 の特別企画として新たに立ち上げられた「Inter BEE MoIP (通称：BEEMO)」への出展検討企業を対象に開催された。従来の IP パビリオンから進化した 3 テーマ構成の企画内容、コンソーシアム会員区分に応じた費用体系、放送事業者向け特別参加枠、申し込み期限の延長 (7 月 24 日まで)、および今後のスケジュールを詳細に説明し、参加申し込みを促すことを主目的とする。

---

### Inter BEE MoIP (BEEMO) の開催概要とコンセプト

Inter BEE MoIP (通称：BEEMO) は、Inter BEE 2026 の特別企画として位置づけられており、企画主催は Media over IP コンソーシアムが担う。開催日時は **2026 年 11 月 18 日 (水) ~ 11 月 20 日 (金)**、会場は幕張メッセで、Inter BEE 自体は**入場無料・登録制**の形式をとる。

企画のコンセプトは「**MoIP の現在地を共有し、ユーザーの共創拠点としてメディア IP の未来に向けた知と実践の場を提供する**」というものであり、従来の IP パビリオンからの進化を明確に掲げている。ハイブリッドクラウドやソフトウェア化という世界的なトレンドを踏まえ、最先端技術の展示を引き続きコアとしつつも、IP 化を検討し始めた段階の放送局から実運用フェーズに入った局まで、**多様化するニーズを包括的に受け止める枠組みへのアップデート**が最大の目的である。

エリア構成は大きく 3 つに分かれており、**セミナーエリア・オプションブースエリア** (引き続き自社事務局が管理)、および**展示エリア** (コンソーシアムが運営・許可を担当) で構成される。展示エリアは IP Open と同様に**動態展示**および**ホットステージ**を実施する形式を踏襲する。今年から新たな取り組みとして、\*\*「よろず相談コーナー」\*\*を設置し、IP 化にあたって悩みを持つ来場者に対して専門家がニュートラルに回答できる場を提供する。また、**リレーセミナーの一部枠 (1 日 3 日間分：13:00~13:45、15:00~15:45)** を販売する新しい枠組みも導入される。

---

### 3つの展示テーマと企画内容

今年の BEEMO は、来場者が自社の課題に照らし合わせて視察できるよう、**3つの独立したテーマ**で展示を構成する点が従来の IP パビリオンからの大きな変化である。ベンダーと事業者双方が参加しやすい構成を目指しており、テーマ間の性格を意図的に明確に分けている。

#### 企画1：手軽に導入できる MoIP — 機器相互接続検証

IP 製品が市場に増加する中、基礎的な**総合接続検証**を改めて実施するテーマ。ベンダー限定の**クローズドな実証検証**として行われるため、ユーザー（放送事業者）は参加しない形式をとる。ただし、検証の成果・結果についてはコンソーシアム内で共有する方針となっている。企画マネジメントは、従来の IP パビリオンで相互接続検証を牽引してきた**ザビックス 長谷川氏**が担当する。

#### 企画2：現在の MoIP — 放送事業者目線のリモートプロダクション

「SDI から IP への移行における現実的な課題解決」「運用の信頼性の実証」「ベンダーとの共創を通じた実践的人材育成」を目的とする企画。**リアルな制作環境の再現**として、現在テレビ朝日 津中氏と交渉中の実際のスポーツ大会（野球を想定）の映像素材（7ch）をゲートウェイで IP 化し、データセンターに集約する**リモートプロダクション環境**を構築する計画を進めている。

放送事業者の参加枠は目的別に 2 種類を用意する。

参加枠	対象	内容
実践的ハンズオン枠	IP 化を検討中・経験値を積みたい事業者	ベンダーとともにシステム構築・オペレーションへ深く関与
ライト層向け学習枠	完成システムの体験・運用学習が目的の事業者	構築よりも触れて学ぶことを重視

企画リーダーとして**ザビックス 長谷川氏**が担当し、映像素材の調整窓口としてテレビ朝日 津中氏と連携している。

#### 企画3：MoIP の先の未来へ — ソフトウェアデファインド

過去 2 年の IP パビリオンで実施してきたソフトウェア化展示に近いコンセプトを継承しつつ、さらに進化させる企画。**専用ハードウェアの制約から解放**

された未来の映像制作環境を構築し、NABなどで近年注目が高まっているMXLの対応製品や、パブリックとプライベートを組み合わせたハイブリッドクラウド構想を積極的に盛り込む方針。最先端技術を牽引するベンダーのイノベーションを業界内外へ発信することを訴求ポイントとする。企画リーダーとしてソニーマーケティングおよびNTTドコモビジネス 桑原氏が担当する。

注記：各企画の詳細はまだ仮案段階にあり、今後参加企業を交えてブラッシュアップを進める予定。全体統括はコンソーシアム副会長の小貝氏、事務局全体は佐久間氏が担当する。

---

## 参加要件と費用体系

参加料金は「Media over IP コンソーシアムの会員か非会員か」および「Inter BEE 出展企業か非出展企業か」という2軸の組み合わせによって設定されている。

非会員の参加者については、参加料金の中にMedia over IP コンソーシアムの半期分の仮入会権（3月末まで）が特典として含まれており、コンソーシアムの活動・成果物の利用が可能となる。

### 機材展示オプション

展示エリアへの機材持ち込みについては、来場者の視認性向上を目的として制限が設けられた。基本料金に機材2セット分が含まれる。それを超えて追加展示を希望する場合は、1セット追加ごとに44,000円の追加料金が発生する。

### 放送事業者向け特別参加枠

放送事業者は「MoIPの実用化に向けた共同事業パートナー」として位置づけられており、原則として無料の特別参加枠が適用される。ただし、この無料枠の適用には以下の主体的協力が必須条件となる。

- 人的リソースの提供（例：企画会議・実証作業への参加など）
- 企画・実証への貢献物の提供（コンテンツ、技術知見等）

一方、販売物や事業化を伴う活動を行っている放送事業者については、無料枠は適用されず、Inter BEE 出展者料金（198,000円）が適用される。なお、放送事業者が申し込む際には、ベンダー用の申し込み用紙にて「参加費用」欄を未チェックのまま必要事項を記載して提出する運用となっている。

---

## 申し込み方法と今後のスケジュール

### タイムライン

日程	内容
7月24日（金）	出展申し込み期限（説明会当日周知の締切から延長）
8月上旬頃（予定）	各企画「0回目」会議（キックオフ前の準備会議）
8月5日（水）	全体キックオフミーティング
11月2日（月）～11月13日（金）	ホットステージ（事前検証・接続確認期間）※仮案
11月15日（日）	幕張メッセへの搬入・セットアップ開始
11月18日（水）～11月20日（金）	Inter BEE MoIP 本番開催
～11月27日（金）	撤去・クラウド残置作業を含む後処理期間※仮案

補足：ホットステージの会場については現在調整中（候補：スカパー！／川口の樺）。ホットステージの期間は会場提供先の都合にも依存するため、上記はあくまで現時点の仮案。データセンターへの残置対応を含め、11月27日（金）をお尻のラインとして設定している。

### 申し込み方法

公式ホームページから\*\*「出展申込書」および「契約書」\*\*をダウンロードし、専用の申し込みフォームから提出する。申し込みが期限（7月24日）に間に合わない場合は、事務局へ個別に連絡・相談することで対応可能。

---

## Media over IP コンソーシアムの活動紹介

Media over IP コンソーシアムは、従来の放送設備の検討・運用に携わってきた関係者が **Media over IP** システムを導入する際に直面するテクノロジー・運用のギャップという課題を解決するために設立された団体（活動開始から約2年目）。以下の5つを主な活動の柱としている。

1. **Media over IP** プラットフォームの提案 (RFP・リファレンスモデルの作成)
2. マルチベンダー間の機器相互接続検証
3. プロセスイノベーションを目的としたワークフローの提案
4. **IP** 人材の育成 (セミナー・ハンズオン)
5. 情報発信・広報活動

## 役員・幹事体制

役職	氏名・所属
会長	TBS ホールディングス CTO 奥田氏
副会長	ソニーマーケティング 小貝氏
幹事	NEC 浜崎氏
客員	経産省情報産業課、総務省放送技術課、NHK 技術局

会員数は現在約 **65** 社 (間もなく **66** 社) で、放送事業者と機器ベンダーが約半々、その他通信キャリアやソフトウェア会社が参加している。

## ワーキンググループ (WG) の活動

WG 名	担当主査	主な活動内容
プラットフォーム WG	ネットワンシステムズ 榎戸氏 (副主査: ザビックス 長谷川氏)	RFP 作成ガイドライン策定、グラウンドデザイン策定 (全体・時刻同期・運用管理・セキュリティ等 7 大項目)
ワークフローWG	TBS 平井氏	IP 化状況アンケート実施、業界位相合わせ、事例講演・意見交換会 (海外 WG レポート含む)
IP 人材育成企画 WG	東京エレクトロンデバイス 川崎氏	毎月のオンラインセミナー (平均視聴者 300~400 名)、各地でのハンズオンセミナー (東京・名古屋・大阪・札幌)
普及広報 WG	ザビックス 長谷川氏	東北エリアでの IP 普及イベント、会員マップ・カ

WG 名	担当主査	主な活動内容
		オスマップ作成、AI (Google NotebookLM) を活用した資料育成

ハンズオンセミナーは設計からトラブルシューティングまでを実機で体験できる内容で、大阪開催では 99 名が参加するなど高い人気を誇る。次回は来月末にスカパー!にて東京開催を予定している。

## 入会要件・費用

- 年会費：正会員 20 万円（入会金なし、年度単位で 3 月末まで）
- 子会社特例：持分 50%以上の連結子会社は、親会社の権限で WG への参加が可能
- 入会手続き：Web サイトの入会フォームから申し込みを行う（Inter BEE MoIP の出展申し込みとは別途手続きが必要）

---

## 質疑応答

説明会では複数の参加者から実務的な質問が寄せられ、以下の重要事項が確認・合意された。

### ホットステージの場所と接続先

ホットステージの候補会場として、昨年と同様のスカパー! および以前に検討した川口の KEYAKI の 2 か所を現在調整中（未確定）。接続先については現時点では非公表だが、野球の大会映像素材を活用した中継を関係者と相談中であることが共有された。

なお、「ホットステージ」の定義について長谷川氏より補足があり、これは\*\*「会期前の事前検証・接続確認期間（11月2日～13日）」\*\*を指すものであり、機材の物理的な在場期間（11月27日まで）とは区別して理解すべき点が強調された。

### プレスリリースの発行について

出展企業が検証内容（例：A社・B社・C社で何を行ったか）を個別のプレスリリースとして発信することは可能とされた。ただし、以下の条件が課せられる。

- 発行前に関係各社および事務局で内容を確認・承認すること
- 「完璧に接続が確認できました」など、確証を超えた表現は不可

- ネガティブな表現を含まないこと

コンソーシアム団体名義での開催発表プレスリリースも、事前・事後ともに発行を予定している。

## 会期中の人員配置

展示エリアへの機材をコントリビュートして参加する場合は、**ブースを持たない企業であっても自社製品の説明員として人員配置が必要**。従来の運用では、同一企画の参加企業が**1社最低1名**を出し合い、**3日間**を交代で担当する形式をとっていた。各企画内でのアサインメント調整は今後の企画会議で詰める方針。

## コンソーシアム仮入会特典の期間

非会員の参加料金に含まれる半期分の仮入会特典について、厳密には会費の半期区切りに合わせると**10月スタート**となるが、キックオフ時期等との兼ね合いから**8月頭からのスタート**で運用することも検討中。連続利用の可否等の詳細ルールは今後決定する。

## 参加確定状況

現時点で出展申し込み済み企業が約**10社**、企画検討会への参加企業が約**20社**となっている。個別企業名については現時点では公開していない。

---